



平成 21 年 11 月 10 日

各 位

会社名 カラカミ観光株式会社
代表者 代表取締役社長 片山 達哉
(JASDAQ・コード9794)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長
西村 孝孔
電話 011-598-3225

平成 22 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 20 日付「平成 21 年 3 月期 決算短信」にて発表いたしました平成 22 年 3 月期 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日) の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益	
前回発表予想 (A)	10,300	370	120	60	円 銭	
今回修正予想 (B)	9,912	411	201	43	6	92
増減額 (B-A)	△388	41	81	△17	—	
増減率 (%)	△3.8	11.1	67.5	△28.3	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	11,746	513	200	△882	△101	81

平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益	
前回発表予想 (A)	20,000	600	200	100	円 銭	
今回修正予想 (B)	18,600	860	360	100	11	53
増減額 (B-A)	△1,400	260	160	0	—	
増減率 (%)	△7.0	43.3	80.0	0.0	—	
(ご参考) 前年実績	21,978	510	△276	△4,741	△547	56

2. 業績修正の理由について

長引く景気の低迷による消費不振、新型インフルエンザ等、観光業界を取り巻く環境は極めて厳しく、収益力を回復させ、安定した経営を取り戻すためには、現状の延長線上の経営から脱皮する必要が喫緊の課題であり、新たに3カ年の「経営改善計画書 (New Karakami Project)」を策定しました。

これに基づいた抜本的な構造改革の断行による体質強化を図るべく、北海道地区ホテルの抜本的見直しや地区単位での営業基盤強化などホテル事業の「収益力強化」、資金繰り安定化や有利子負債圧縮などによる「財務体質強化」、組織体制の見直しや従業員モチベーションの向上など経営管理体制の整備による「組織力強化」の3つの柱を推進してまいります。

上記に伴い、通期の連結売上高、同営業利益、同経常利益について前回予想値（平成21年5月20日）を次のとおり修正いたします。売上高は200億円に対し186億円の見込みとなり14億円減少、営業利益は6億円に対し8億60百万円の見込みとなり2億60百万円増加、経常利益は2億円に対し3億60百万円の見込みとなり1億60百万円の増加となります。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上